

会 見 年 月 日	令和8年8月28日（金曜日）		
担 当 課	教育委員会 文化財課 文化財係	（担当者名：荒木・森田）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6962	（内線：2325）	FAX：0791-43-6895

令和8年度有年考古館企画展「考古学からみた赤穂の塩づくり」

1 趣旨

日本遺産「『日本第一』の塩を産したまち播州赤穂」のストーリーのうち、塩づくりのルーツとなった古代に焦点をあて、土器製塩の実験の成果を交えつつ、考古学の視点から赤穂の塩づくりの歴史を紹介します。

2 会期

令和8年9月9日（水曜日）～12月7日（月曜日）

3 開催場所

赤穂市立有年考古館1階展示室

4 入館料

無料

5 展示資料

東有年・沖田遺跡出土土器
堂山遺跡出土土器
復元土器

ほか約60点

6 印刷物・広告等

ポスター、チラシ、インターネット、Web サイト「赤穂市立有年考古館」
(<http://www.ako-hyg.ed.jp/bunkazai/unekokokan/>)

令和8年度有年考古館企画展

考古学
赤土の塩く

展示会期

令和8年9月9日(水)~12月7日(月)

考古学からみた赤穂の塩づくり

赤穂は江戸時代、「日本第一」と称された塩の名産地です。

江戸時代よりも前、日本の塩づくりのルーツとなった古代において、赤穂の人々はどのような塩づくりを行っていたのでしょうか。

本展では、発掘調査によって明らかになった、古代の赤穂における塩づくりの歴史を、赤穂市教育委員会で行った土器製塩実験の成果を交えてご紹介します。



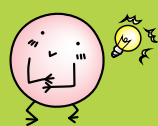
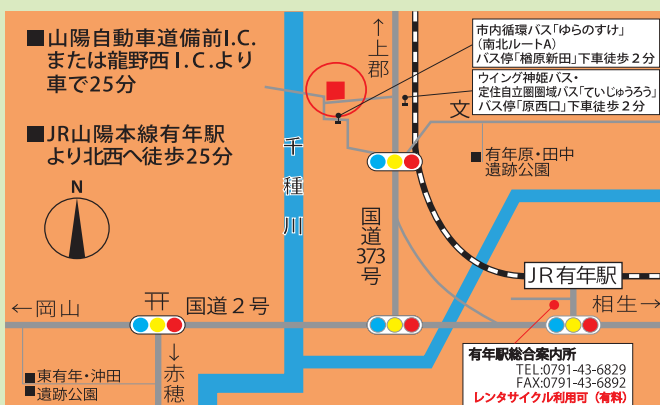
▲東有年・沖田遺跡出土製塩土器



▲沸騰するかん水



▶完成した塩



うね
赤穂市立有年考古館



〒678-1181 兵庫県赤穂市有年檜原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年末年始（12月28日～1月4日）

■開館時間■ 午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索！